

こんにちは三原じゅん子です

NO. 24 2012年 4月 27日

日本共産党 名張市議会議員
三原 じゅん子
すずらん台西4-202
☎0595-68-3552

生活相談は
お気軽に！



新年度がスタートしました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。大きなランドセルで上級生と登校する小学生、少し大きめの制服姿の中学生、初々しく希望にあふれている姿に元気をもらいます。

さて、野田内閣は消費税を10%に上げることをご議論決定しました。同時に年金の削減や医療費の負担増など、社会保障の改悪をすすめるようとしています。すでに4月から年金の減額、介護保険料と後期高齢者医療保険料が値上がりし、子ども手当でも減額になりました。このままでは生活が成り立たず将来への不安が増すばかりとの声が寄せられています。

税は応能負担を原則に、消費税の増税ではなく家計を温め、安心して暮らせる福祉政策と、安定した雇用で経済を活性化することが必要ではないでしょうか？暮らしを守り、若者が希望の持てる社会をつくるために頑張ります。

3月議会報告

三原のQ 保育士の雇用は正規職員で！

- 今年度予算は総額 260 億円で過去最高。前年度比13 億1500 万円増で5 億2千万円の赤字予算。
- 主なものは、

土地開発公社清算事業	12 億 3700 万円	(第3セクター債で起債・10 年償還 H25 年から)
区画整理事業	5 億 8100 万円	(現金返済 H25 年まで3 年間)
市立病院の健全化	10 億円	(例年と同額程度)
子ども発達支援センター	1 億 2950 万円	(国の補助事業)
総合教育センター整備事業	1 億 8490 万円	(国の補助事業)

名張市のA

市の行財政改革 (90 億円の削減) を実行し、土地開発公社・区画整理事業の精算し、H25 年度単年度黒字化することで、改革達成となる。

さらに「新しい公」で自助・共助・公助をすすめる。



◆「新しい公」とは

国の「税と社会保障の一体改革」成案では、社会保障について「自助」「共助」「公助」が表記されています。社会保障を憲法に基づき「すべての人が人間らしく生きる権利を公的に保障する制度」ととらえるのではなく、「自己の努力と相互の助け合い」を基本とし「国や自治体は自己の努力では生活ができない人のみ支援する制度」へと変革するものです。この精神のもと、行政責任を地域住民や団体に転嫁し、管理・運営をさせるのが名張市のすすめている「新しい公」です。

自己責任ばかりが求められ、助けを求める声さえとどかず、児童虐待や介護を苦にしている心中、孤独死、孤立死が社会問題になっています。市内でも各地域で高齢化が進み、老々介護や高齢者の一人暮らし空き家などが増え、地域での支えあいにも限界があります。

◆希望ある名張市にするために

2012年(平成24年)度、市立病院や土地開発公社の健全化と、土地区画整理事業の借入金返済のため、赤字予算編成となりました。

2013年(平成25年)度から単年度黒字が見込まれ「改革達成から名張躍進」と市はいいいます。来年度から財政が単年度黒字になったとしても、これまでの行革は引き続き進められ「改革達成・躍進」は市民が実感できるものではありません。

◆暮らしを守る福祉政策と地場産業の推進によるまちの活性化を

歳をとっても安心して住み続けられるまち

・ 買い物や病院などの交通対策
・ 行政による高齢者の生活支援
・ 安心して子育てできるまち

・ 子ども医療費無料化の窓口負担解消。
・ 小児救急の体制強化。

若者が定着する魅力あるまち

・ 自然エネルギー事業の推進と地産地消をすすめる農業政策

・ 地場産業の推進。

でまちの活性化図り、市内の経済が循環する活力ある名張市を。



